

■貝島太市 父の創業した貝島鉱業を独立発展させてコンツェルン形成するも、日産経営に巻込まれ、〈敗戦〉で終焉。

かいじまたいち

明治14年政変1881= 福岡県遠賀郡で、貝島太助の四男に生まれる。

帝国憲法発布1889= 8歳：

帝国議会始・1890= 9歳：

日清戦争始・1894=13歳：

白馬会・・・1896=15歳：父の恩人井上馨の還暦の祝宴席上で、井上の姪の娘鮎川フミ（鮎川義介の実妹）との縁組みが約束され、

子規句歌革新1898=17歳：父の設立した貝島鉱業合名会社の出資者の一人となる。

Bushidou・・・1899=18歳：

教科書疑獄・1902=21歳：東京商業高等学校に入学。

日露戦争始・1904=23歳：鮎川フミと結婚、鮎川義介が義兄となる。

韓国反日暴動1907=26歳：三兄健次と米国へ留学、

アヲキ\* 創刊・1908=27歳：

伊藤博文暗殺1909=28歳：帰国。父が、井上馨の指示に従って、貝島家家憲を制定。

明治天皇没・1912=31歳：

大正政変・・・1913=32歳：長兄栄三郎が死去。

21ヶ条要求・1915=34歳：貝島鉱業顧問つとめてきた井上馨の死去、その養嗣子勝之助が顧問になる。

民本主義・・・1916=35歳：\*父太助が死去して、貝島家のリーダーとなる。

ロシア革命・1917=36歳：大之浦・桐野第二坑で死者369名のガス爆発事故を引き起し、北九州官吏汚職事件にも一族が関与するなど、不祥事も続いていたが、井上勝之助がイギリス特命全権大使としてロンドンに赴任していたため、顧問代理を依頼された鮎川義介は、一族経営が問題あるとして、言行不一致のないこと・家憲は時勢の推移に応じて適宜改定を認めること・飲酒の弊を匡正すること・血族結婚を禁止することという条件をつけて、誓約書をとった上で、顧問代理を受諾。

第一次大戦終1918=37歳：米騒動のあおりを受けて各炭鉱で坑夫暴動が発生。以後、健次はじめ一族の「改革派」とともに、義兄鮎川義介による一族一事業原則の貝島家改革案によって同家の経営改革を実施して行く。貝島合名は林業部を設置して鹿児島県に山林を所有、

ベルリン条約・1919=38歳：貝島一族の共同事業を統括するための貝島合名会社と自らの一事業として貝島家の悲願である三井物産からの営業権奪回による自社販売方式の実施を企図した貝島商業を設立して、社長に就任。

大暴落・・・1920=39歳：\*三井物産に委託する販売契約を一方向的に解消し、自社販売方式を開始。貝島合名は石灰部を新設し、大分県で石灰石の採取事業に着手、

原敬首相暗殺1921=40歳：貝島鉱業は大辻、岩屋両炭礦を分離して、新たに大辻岩屋炭礦株式会社を設立。貝島合名は日本傷害保険火災海上保険会社株式の大半を買収し、社名を中央火災海上保険と改称して係系会社とする。

関東大震災・1923=42歳：貝島合名は九州木材防腐株式会社株式を譲り受け、貝島木材防腐と改称して経営。

護憲三派圧勝1924=43歳：\*貝島合名会社代表業務執行役員に就任。林業部を貝島林業株式会社として分離独立させ、植林ならびに伐木、製材、製炭に関する事業を開始。石灰部を貝島石灰工業株式会社として独立させ、大半を久原房之助が経営する久原鉱業佐賀製錬所に供給。あわせて貝島乾溜株式会社を設立。各家当主が社長として主宰する企業群を貝島合名が統括管理するコンツェルン体制を確立するが、

円本時代始・1926=45歳：貝島林業社長の永二が死去する一方、鮎川が久原房之助からの要請で、破産の危機に直面していた久原鉱業の再建を引き受けることになり、

金融恐慌・・・1927=46歳：鮎川が顧問代理を辞任するにあたって資産を提出し、多角経営体制の縮小が始まる。貝島一族会が久原鉱業の債務整理の資産を提供するに伴い、貝島林業を解散。以後、鮎川が登用・招聘した専門経営者の多くが、貝島家の事業経営から離れ、日産コンツェルン系企業の役員となって行く。

満州事変・・・1931=50歳：貝島礦業、貝島商業、大辻岩屋炭礦の三社を合併して貝島炭礦株式会社を設立し、社長に就任、貝島乾溜、貝島石灰工業二社を合併して貝島化学工業を設立、貝島木材防腐は解散する。

芥川直木賞始1935=54歳：筑豊石灰炭業組合総長に就任。

日中戦争始・1937=56歳：鮎川の要請で、中央火災傷害保険を日産コンツェルンに譲渡、日産火災海上保険となる。

貝島合名の直営会社を貝島炭礦と貝島化学工業の二社に縮小、以後、本業の炭鉱事業に集中して行き、

日米開戦・・・1941=60歳：

年金+総武装1944=63歳：

敗戦・・・1945=64歳：

新憲法施行・1947=66歳：日本石灰炭業会会長に就任。

朝鮮戦争始・1950=69歳：貝島合名会社が解散、

独立回復・・・1951=70歳：\*貝島一族会を貝島親和会と改称し、家憲を廃止。

テレビ放送始・1953=72歳：

安保闘争・・・1960=79歳：

全国総合計画1962=81歳：

いざなぎ景気1966=85歳：\_没した。

インターネット宇田川勝「地方財閥の形成者」、